取扱説明書

型式: MM-30 シリーズ

Computer Sewing Machine





子育てに ミシン

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らなければ、火災や人身事故になる場合がございます。 この「取扱説明書」には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いを示しています。 この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、この製品を安全にご使用ください。

また、お読みになった後はいつでも見ることができるように、必ず保管してください。

AXE YAMAZAKI

もくじ

お使いになる前にお読みください

安全にご使用いただくために2	~3
取り扱いのお願い	3
補助テーブル ーーーーーーーーーーー	4
付属品	4
各部の名まえ ーーーーーーーーーーー	5

操作の仕かた

ドロップフィード ーーーーーーーー	6
手持ちハンドル ---------	7
模様表示パネル ----------	7
スマホスタンド/針ガード ------	8
押え上げレバー ----------	9
押えの取り外しかた・取り付けかた ----	9
押えホルダーの取り外しかた・取り付けかた	10
電源を入れる前に ---------	10
電源を入れる -----------	11
液晶パネル ーーーーーーーーーーー	11
針上下ボタン ----------	12
スピード調節ツマミ	12

縫う前の準備

ボビンの取り出しかた	12
下糸の巻きかた1	3~14
下糸のセット ーーーーーーーーーー	14
上糸のかけかた1	5~16
針穴糸通し器1	7~18
下糸の引き上げかた --------	18
縫い目の長さを変える --------	19
針の位置を変える	19

縫ってみる <基本編>

直線縫い	20
縫い方向を変える ---------	21
厚地や段差を縫う -----------	21
伸縮生地を縫う	21
返し縫い	22
針、糸、生地の関係	22
糸調子の合わせかた	23

縫ってみる <応用編>

ジグザグ縫い/縁かがり縫い -----	24
スカラップ ーーーーーーーーー	24
パッチワーク(つき合わせ)	25
ゴムテープ付け --------	25
アップリケ ーーーーーーーーー	26
スモッキング ーーーーーーーーーー	26
まつり縫い(ブラインドステッチ) ----	27
ピンタック ーーーーーーーーーー	28
シェルタック ーーーーーーーーーー	28
ファスナー付け(突き合わせ) ------	29
ファスナー付け(脇あき) ------3	0~31
ボタンホール縫い -------3	1~33
文字縫い	34
液晶パネルのメッセージ	35
縫い模様一覧及び使用する押え	36

お手入れ

針の取り替えかた37	
正しい針の選びかた ------ 37	
ボビンケースのそうじ38~3	9

その他

フットコントローラー(別売品) -----	40
困ったときは4	1~42
仕様	42
修理サービス要領	43
お問い合わせまたはご相談先 ------	43
サービス工場のご案内	43
MEMO4	4~45
保証書	終

安全にご使用いただくために

ご使用の前に「取扱説明書」を必ずお読みになり、正しく安全にご使用ください。

この取扱説明書および商品には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。以下の表示を無視して誤った取り扱いを することにより生じる内容を、次のように区分しています。

以下の内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

- このミシンは日本国内向け家庭用です。 For use in JAPAN only. 国外での使用および職業用としてご使用になった場合の保証はできません。
- 仕様および外観は品質改善のため、予告なく変更することがあることをご了承ください。
- 取扱説明書の内容は予告なく変更することがありますのでご了承ください。
- 取扱説明書の内容を許可なく無断で複製をすることは禁じられておりますのでご了承ください。





■ 曲がった針を使わない。 曲がった針を使うと、次のようなケガや部品の損傷につながります。 ・針穴に刺さらず、折れた針が飛び、ケガの原因になります。 ・押えや針板、ボビンケースに傷を付け、糸調子が合わなくなります。 ■このミシンで縫えないもの。 次のものはこのミシンでは縫えません。 (針やモーターなどに過度の負担をかけ、故障の原因になるだけでなく、針折れなどの原因にもなります) ・木、プラスチック、金属などの板・ぬれた生地、粗い網(漁網など)・はずみ車を手で回しても針が刺さりにくい生地、厚過ぎる生地。 ■ 保管時の結露 (つゆつき) について。 寒いところから、暖かい室内に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋では、本体の表面や内部に 結露(つゆつき)が起こることがあります。結露がなくなるまで、電源コードプラグをコンセント(家庭用電源)に接続しないでください。 そのままお使いになると感電や誤動作・故障の原因になります。 ■ 直射日光・熱気をさける。 直射日光が当たる場所や熱器具の近くには置かないでください。プラスチックのカバー部分や内部部品に変色・変形や 部品劣化などの悪い影響を与えますのでご注意ください。 ■ 糸絡みのとき、糸・生地を引っぱらない。 針や部品を破損します。 ■ ミシン表面のお手入れ。 プラスチック部分の汚れがひどいときは、中性洗剤をぬるま湯に薄め、布に浸してかたく絞り、乾いた布で仕上げてください。 ・ベンジン・シンナー・ワックスなどで拭かないでください。 ■ 説明書で指定された以外の分解・改造はしない。 ネジ類の締め忘れやゆるみにより、針折れや部品の破損の原因になります。 ■ 長期間ご使用にならないとき。 長期間ご使用にならないと、油の乾燥・固着などで機能に支障をきたす場合があります。 時々、ミシンを動かしてください。油の固着を防ぐことができます。 ■ミシンの上に物を載せない/ミシンの上に乗らない。 ミシンに負担がかかり故障の原因になるだけでなく、ミシンが倒れたりしてケガの原因になります。



※ ボビンをお買い求めるときは家庭用プラスチックボビン(高さ 11.5mm×直径 20.5mm)とご指定ください。 ※針をお買い求めるときは市販の家庭用ミシン針(HA × 1)とご指定ください。

各部の名まえ



ドロップフィード (送り歯高さ切り替え)

刺しゅうやキルトなど生地を手で動かして縫うときに、送り歯を下げることができます。

< ミシン背面図 >

ミシンの背面に『ドロップフィードレバー』が確認できます。
『ドロップフィードレバー』を操作することで、送り歯を上下させることが可能になります。
『ドロップフィードレバー』はミシンの背面から操作してください。
※『ドロップフィードレバー』を作動するときは、『押え上げレバー』を上げてください。
(P9の押え上げレバーを参照してください)





●送り歯を上げる場合(通常縫い)

ミシンの背面の『ドロップフィードレバー』を少し 下げたままで、右にスライドさせます。
* 『送り歯』が上がってこないときは、『はずみ車』を 手前に1回転させると『送り歯』が上がります。





●送り歯を下げる場合 ミシンの背面の『ドロップフィードレバー』を少し 下げたままで、左にスライドさせます。

* 通常縫いはできません。ご注意ください。

手持ちハンドル



*ミシンを移動するときは、下記の間違った持ち運びをしないでください。
・手持ちハンドル以外の場所を持たない。
・持ち運ぶときは急激・不用意な動作をしない。
ミシンが壊れたり、滑って落としケガをする恐れがあります。



ミシンを移動するときは、『手持ちハンドル』を 持って移動させてください。

模様表示パネル



< ミシン正面図 >



スマホスタンド/針ガード





お持ちのスマートフォンを置くことができます。 ミシンを使っている途中で、「ちょっと離れる」ときに、針の前にかぶせて お子様が直接針に触れるのを防ぎます。 また、このミシンには様々な使いかた説明の動画を順次ご紹介します。 操作説明をはじめ、上糸のかけかた・下糸のかけかたや注意すべき 重要箇所を分かりやすく説明しています。

URL: http://www.axeyamazaki.co.jp/products/kosodate_motto/index.html



●スマホスタンドのセット

ミシンから離れるときは『スマホスタンド』を 針ガードとしてご使用できます。

- 【1】『電源スイッチ』を『OFF』にします。
- 【2】『押え』を上げます。
- 【3】 『はずみ車』を手前に回して、『針』を上げます。
- 【4】『スマホスタンド』の〇で囲んだ部分を『押え』の下に挿入します。
- 【5】『押え』を下げます。

針を上げる







・電源スイッチを『OFF』にする。

突然動くとケガをする恐れがあります。

注意



●押えの上げ・下げ



『押え上げレバー』を上げると、『押え』が上がります。 更に『押え上げレバー』を上げると、『押え』がもう一段上がる2段階式になっています。 *2段目では、『押え』の高さは固定できません。 * 生地の厚みは1段目の高さを超えないようにしてください。

押えの取り外しかた・取り付けかた



* 音がしないときや押えがすぐに外れるときは、 もう一度『押えピン』と『押えホルダーミゾ』を 合わせ直してください。

押えピン

押えホルダーの取り外しかた・取り付けかた



【3】 外す :『押えホルダー止めネジ』を『針板ドライバー』でゆるめ、『押えホルダー』を外します。 付ける:『押えホルダー』の『U型ミゾ』と『押え棒ネジ穴』の位置を合わせ、 『押えホルダー止めネジ』を『針板ドライバー』で強く締めます。

* 付属の『針板ドライバー』をご使用ください。

電源を入れる前に

縫い損じを防ぐため、次のことを実施してください。



● ミシンをより快適に使うために



針先が無理なく見える位置に ミシンを設置してください。



針の中心と身体の中心が 一致するようにミシンを 設置してください。



【4】『電源スイッチ』を『ON』にします。 (『ランプ』や『液晶パネル』が点灯します)

* 『電源スイッチ』を『ON』にすると、起動音が鳴り、針が左右に 動きますが故障ではありません。

- 【5】『スタート/ストップボタン』を押すと、ミシンは動き始めます。
- 【6】 もう一度、『スタート/ストップボタン』を押すと、ミシンは停止します。

液晶パネル



4



下糸の巻きかた

* ボビンは家庭用プラスチックボビン(高さ11.5mm×直径20.5mm)をご使用ください。 (異なるボビンをご使用しますとミシンの故障の原因になる恐れがあります)





上糸のかけかた









【5】 糸を『針止め糸かけ』にかけます。







【3】 上糸と下糸をそろえ、『押え』の下 から後方に約 10cm 引き出します。

縫い目の長さを変える

●縫い目長さ調節ボタン

『縫い目長さ調節ボタン』で調節すると、 縫い目の長さが変わります。



針の位置を変える

●針振り幅調節ボタン

『 針振り幅調節ボタン 』で調節すると、 針の位置が変わります。

<液晶パネル>



* 直線縫い模様の場合







厚地を生地の端から縫い始めると『押え』が傾き、生地が進まなくなることがあります。 その場合、『押え』の下に生地と同じ厚さの生地や厚紙を置き、傾きをなくすと順調に縫い始めることができます。

*厚地を縫うときは、市販の家庭用ミシン針:16番をご使用されることを推奨します。



*縫い目が飛ぶときは、市販の家庭用ニット用針やニット用糸をご使用下さい。

返し縫い

返し縫いボタン





- 『返し縫いボタン』を押している間は返し縫いになります。
- * 縫い始めと縫い終わりに返し縫いを行うとほつれ止めに なります。
- * 生地の端の寸前から返し縫いを行うと、生地が食い込んで ミシンが停止することがあります。

針、糸、生地の関係

- きれいに縫うためには、生地に合った針と糸をご使用ください。(下記の表をご参照ください) 上糸と下糸は同じ種類・同じ太さの糸をご使用ください。
- 針は家庭用ミシン針(HA × 1)、糸は家庭用ミシン糸とご指定の上お買い求めください。 (工場出荷時、ミシン本体には 14 番の針が装備されています)

	生地の種類	針の種類・番号	糸の種類・番号
薄地	ー般裏地、ローン、ジョーゼット、 レース、キュプラ など	9、11番	綿 60~100 絹 50~90 化繊糸 60~90
普通地	ー般服地、ブロード、ソフトデニム、 サテン、パイル、ギンガム など	11、14番	線 60~90 絹 50~90 化繊糸 60~90
厚地	キルティング、フリース、 ツイード、デニム、フェルト など	14、16 番	綿 40~50 絹 50 化繊糸 50~60
伸縮地	ニット、トリコット、スパンデックス、 ジャージ など	ニット用針 11、14 番	綿 60 化繊糸 50~90 ニット用糸 50~90

* 下記の表はあくまで参考です。必ず試し縫いをして、縫い目をご確認ください。

* 針は数字が大きくなるほど太くなります。 * 糸は数字が大きくなるほど細くなります。 (針の交換方法は P37 の針の取り替えかたをご参照ください)

*14番の針しか付属していません。 *9、11、16番の針とニット用針11、14番は、付属されていません。





・表に記載している糸以外を使用しないでください。 故障の原因になる恐れがあります。





糸調子の合わせかた

生地の端のほつれを防止します。





ジグザグ縫い/縁かがり縫い

・針先に注意する。 ケガをする恐れがあります。

・縫い模様を選択するときは、針を上げる。 針が折れ、ケガをする恐れがあります。

押え	模様表示			
	薄地	普通地	厚地	伸縮地
	06	03 11	11 14	17
」:ジグザグ押え	\leq	\leq		



生地裏側

生地表側

(P9の押えの取り外しかた・取り付けかたをご参照ください)

下糸

上糸

●ジグザグ縫い

- 【1】 『模様選択ダイヤル』で、ジグザグ模様を選択します。
- 【2】 『押え』を下げ、縫い始めます。

●縁かがり縫い

- 【1】 『模様選択ダイヤル』で、ジグザグ模様を選択します。
- 【2】 『はずみ車』を手前に回して針が右のときに、生地の端より針が少し外れるように生地を置き、『押え』を下げ、 縫い始めます。

【ジグザグ押え使用時】



右側で針が刺さる位置は生地の ,端より針が少し内側に入る位置 (特に薄地の場合) 【縁かがり押え使用時】



縁かがり押えのガイド金具に 生地の端を沿わせながら 縫います。



子供服やテーブルクロスなどの生地の端を装飾するときに用います。



【2】 糸を切らないように注意して縫い目に そって生地を切ります。

パッチワーク(つき合わせ)

色々な生地をつなぎ合わせ、装飾や衣類の 破れなどの補修に用います。











- 【1】 2 枚の生地を中表にし、直線縫いで 縫い合わせます。
 - 【2】 縫い合わせを開きます。
- 【3】 両方の生地に模様が またがるように縫います。

ゴムテープ付け

袖口などのゴム付けをきれいに縫えます。





*ゴムテープは用途の長さより4~6cm長めに切ります。



【1】 生地に対しゴムテープを2~3cm はみ出し、
 4~5cm を縫ってミシンを止めます。
 (4~5cm を縫っている間は、ゴムテープは
 伸ばさないでください)



【2】 縫い終わり側のゴムテープ端を伸ばして、
 生地と一緒に押えながら縫います。
 * ゴムテープは伸ばしたまま生地がシワに
 ならないように縫い付けます。

* 目飛びをするときは、針を市販のニット用針に交換してください。 * 生地の裏に糸がたるんでいる場合は、上糸の糸調子を強くします。

アップリケ

・縫い模様を選択するときは、針を上げる。 針が折れ、ケガをする恐れがあります。





Æ



【1】 アップリケ布を生地にしつけ、 または布用ボンドで仮止めします。

スモッキング



・針先に注意する。 ケガをする恐れがあります。

【2】 アップリケ布の回りを縫い付けます。 *縫い方向を変えるときは、アップリケ布の外側に針を刺し、 『押え』を上げ、生地全体を回します。

注意

・針先に注意する。 ケガをする恐れがあります。
・
鉛先に注意する。 ケガをする恐れがあります。
・
縫い模様を選択するときは、針を上げる。 針が折れ、ケガをする恐れがあります。





スカートやズボンの裾上げをするときに用います。 生地の表面に目立たない縫い目です。





ファスナー付け(突き合わせ)



- ファスナー付け押えは、模様選択ボタンを【00】の直線縫いに合わし、針振り幅調節ボタンの数字『3.5』以外は使用できません。
 針が折れ危険です。
- ・ミシンを電動で動かす前に、はずみ車を手前にゆっくり回し、針が押えに当らないことを確認してください。
 - ・押え交換時は電源スイッチを『OFF』にしてください。突然動くとケガをする恐れがあります。
- ・針先に注意してください。 ケガをする恐れがあります。



【1】 縫い模様を中基線の直線縫いにします。中表に2枚の生地を合わせ、ファスナーのあき止まりまで 直線縫いをします。ファスナーを取り付ける部分はしつけをしておきます。



ファスナー付け(脇あき)



ファスナー付け押えは、模様選択ボタンを【00】の直線縫いに合わし、針振り幅調節ボタンの数字『3.5』以外は使用できません。
 針が折れ危険です。

- ・ミシンを電動で動かす前に、はずみ車を手前にゆっくり回し、針が押えに当らないことを確認してください。
- ・押え交換時は電源スイッチを『OFF』にしてください。突然動くとケガをする恐れがあります。
- ・針先に注意してください。 ケガをする恐れがあります。



【1】 縫い模様を中基線の直線縫いにします。中表に2枚の生地を合わせ、ファスナーのあき止まりまで 直線縫いをします。ファスナーを取り付ける部分はしつけをしておきます。



 【2】 上生地を縫い代まで割り、下生地は縫い代を 3mm残して折ります。折り山の下にファスナーの ムシを合わせ、しつけをします。
 (スライダーを手前に倒しておきます)



【4】 ファスナー左部分をあき止まりから 下生地縫い代に縫い付けます。

押え	模様表示
	00
ファスナー付け押え	

【3】『ファスナー付け押え』に交換します。
 *ファスナーの左側を縫うときは、
 『ファスナー付け押え』の右部分を使用します。
 (P9の押えの取り外しかた・取り付けかたをご参照ください)



【5】 ファスナーのスライダー部分まで針がきたら、 ミシンを一度止め、針を生地に刺します。 『ファスナー付け押え』を上げ、スライダーを 下げ、ムシを開き残りを縫います。



【6】 上生地を開き、ファスナーを閉じてから あき止まりとファスナー右部分をしつけを します。



【7】『ファスナー付け押え』を左側に付け替え、 裏に隠れたファスナー右部分を縫い付けます。 しつけを抜きます。



ボタンの大きさにあったボタンホールを縫うことができます。 ボタンホールの形はボタンの大きさや形によって、9 種類のボタンホール縫い から選べます。



・押え交換時は、電源スイッチを『OFF』にする。 突然動くとケガをする恐れがあります。 ・針先に注意する。 ケガをする恐れがあります。

* 縫い損じを防ぐため、製品に縫う前に必ず別生地でボタンホールを作り、ボタンが通るか ご確認ください。







- 【5】 上糸は『ボタンホール押え』の下を通します。
- 【6】 生地に付けた『ボタンホール縫い始め』と『ボタンホール押えの 印』を合わせて生地を置き、『押え上げレバー』を下げます。
 - * 生地が斜めになっていると、ボタンホールが生地に対し 斜めに作られますのでご注意ください。



- 【7】 糸を軽く持ち、縫い始めます。
 - * ボタンホールを縫っているときに、『 ボタンホールレバー 』に 触れないでください。



【8】 ボタンホールは『スタート/ストップボタン』を押すと、図のような順序で縫っていきます。 ボタンホールが完成するとミシンは自動で停止します。





●ひらがな、漢字、数字

- 【1】 『文字縫い選択ボタン』を押すと『液晶パネル』に 🐱 が表示され、文字縫いモードになります。
- 【2】 『模様選択ボタン』のマイナス又はプラスのマークを押し、縫いたい文字、数字や漢字の番号を選びます。
 *『縫い目長さ調節ボタン』で文字間を調節できます。
 *『模様選択ボタン』のマイナス又はプラスのマークを長く押すことで、番号を10ずつにスキップすることができます。
- 【3】 押えを下げ、生地に軽く手をそえて縫い始めます。

* 縫うときは生地を強く引っ張ったり、押え過ぎたりすると、模様がきれいに縫えません。 * 模様によっては生地が前後に動いたり、生地がまっすぐに送られないことがあります。 * まっすぐに生地を送るように軽く手をそえて縫ってください。

 00
 01
 02
 03
 04
 05
 06
 07
 08
 09
 10
 11
 12
 13
 14
 15
 16
 17
 18
 19
 20
 21
 22
 23
 24

 あいうえおかきくけこさしすせそたちつてとなにぬねの

 25
 26
 27
 28
 29
 30
 31
 32
 33
 34
 35
 36
 37
 38
 39
 40
 41
 42
 43
 44
 45
 46
 47
 48
 49

 はひふへほまみむめもやゆよらりるれろわをんがぎぐげ
 50
 51
 52
 53
 54
 55
 56
 57
 58
 59
 60
 61
 62
 63
 64
 65
 66
 67
 68
 69
 70
 71
 72
 73
 74

 50
 51
 52
 53
 54
 55
 56
 57
 58
 59
 60
 61
 62
 63
 64
 65
 66
 67
 68
 69
 70
 71
 72
 73
 74

 ござじずぜぞだぢづでだぢづでどばびぶべばびぶへほよ

●**アルファベット**

【1】 『 液晶パネル 』に 🐱 が表示されている場合、『 文字縫い選択ボタン 』を押して通常縫いのモードにします。 【2】 『 模様選択ボタン 』のマイナス又はプラスのマークを押し、数字の 70 からの縫いたい文字を選びます。

70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 **A B C D E F G H I J K L M N O P Q** 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 **R S T U V W X Y Z & ・ ー** □ *****99は空白(スペース)です。

液晶パネルのメッセージ

間違った操作が行われると、液晶パネルにメッセージが表示されます。 液晶パネルにメッセージが表示されたら、以下の手順に従って問題を解決してください。

<液晶パネル>



<液晶パネル>



●ボタンホールレバーが下がっていない。または、上がっていない。 ボタンホールを縫うときはボタンホールレバーを下げてください。 ボタンホール以外を縫うときはボタンホールレバーを上げてください。



.

<液晶パネル>



● 糸などが絡んだときに強制的に回転が中断されてミシンが停止した状態です。
 電源スイッチを『OFF』にしてから糸の絡みを取り除き、
 再び電源スイッチを『ON』にしてください。

<液晶パネル>



 ● フットコントローラーを接続したままではスタート/ストップボタンを 押しても動かない状態です。
 スタート/ストップボタンで動かす場合は、フットコントローラーを 抜いてください。

縫い模様一覧及び使用する押え

押え	模様表示	
レビジン しんしょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう しょう		
J : ジグザグ押え	$\begin{array}{cccccccccccccccccccccccccccccccccccc$	
H:まつり縫い押え	04 07 Vm V	
レイン・ボタンホール押え		
し Z:サテン押え	31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 A B C D E F G H I J K L M N O P Q 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 R S T U V W X Y Z & · - □ 00 01 02 03 04 05 06 07 08 09 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 50 N 5 2 50 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 $5 C c a a 0 c U O S \wedge C c z b o t O C O C O C O C O C O C O C O C O C O$	

針の取り替えかた





【1】『はずみ車』を手前に回し、針を一番上にします。



正しい針の選びかた

- ・曲がった針は使用しないでください。
- ・家庭用ミシン針(HA×1)をご使用ください。
- ・目飛び、糸絡みがする場合は、ミシンに付いている針先が曲がっていたり、つぶれていないかを確認してください。
- ・不良の針を使い続けると、きれいに縫えないばかりでなく、針板やかまに傷をつけます。新しい針に交換してください。



* ガラスのような平らな面に針を置き、針の曲がり具合を確認してください。



- 【2】 『押え上げレバー』を上げ、針が穴に落ちない ように『押え』の下に生地や紙などを敷き、 『押え上げレバー』を下げます。
- 【3】 付属の『針板ドライバー』を使用し、針を交換します。
 - 外す :取り付けられている針を持ち、 『針止めネジ』をゆるめ、針を 下に引き抜きます。
 - 付ける:針を平らな面を自分から見え ないように持ち、『ピン』に 当たるまで差し込み、『針止め ネジ』を締めます。

ボビンケースのそうじ

●ボビンケースの外しかた

ミシン本体の汚れは、やわらかい生地で乾拭きしてください。 (住宅用洗剤、漂白剤、ベンジン、シンナー、化学雑巾は表面の色が変わるため、ご使用しないでください)



●ボビンケースの付けかた



フットコントローラー(別売品)







- 【1】 『電源スイッチ』を『OFF』にします。
- 【2】 『フットコントローラーピンジャック』をミシン側の『フットコントローラージャック』に 奥まで確実に差し込みます。
- 【3】 コンセント(家庭用電源/100V)に『電源コードプラグ』を差し込みます。
- 【4】『電源スイッチ』を『ON』にします。
- (『ランプ』や『液晶パネル』が点灯します)
- 【5】 『フットコントローラー』を少しずつ踏み込むと、ミシンが動き始めます。
- 【6】 踏み込むほどミシンのスピードが速くなります。『フットコントローラー』から足を離すと ミシンは停止します。



* ミシンの『スピード調節ツマミ』で、
 『フットコントローラー』をいっぱい
 まで踏み込んだときのスピードを調節
 できます。

困ったときは

不具合	原因	処理	参照ページ
	上糸のかけかたが間違っている。	上糸を正しくかけ直す。	15~16
	上糸の調子が強過ぎる。	上糸調節ダイヤルで糸調子を弱める。	23
	ボビンケースやかまに糸くずが絡んでいる。	ボビンケースやかまの糸くずを取り除く。	38~39
上糸が切れる	針が曲がっている。針先が欠けている。	っている。針先が欠けている。 新しい針に交換する。	
	糸に結び目やコブがある。	糸に結び目やコブの部分を取り除く。	_
	針や糸が生地に合っていない。	生地に合った針と糸を使用する。	22
	正規のボビンを使用していない。	正規のボビンを使用する。	4 • 42
	糸が劣化している。 (絹糸や綿糸は劣化しやすい)	新しい糸 (スパン糸) に取り替える。	_
	下糸のかけかたが間違っている。	下糸を正しくかけ直す。	14
下をお打ちて	正規のボビンを使用していない。	正規のボビンを使用する。	4 • 42
「木刀、約11の	ボビンケースやかまに糸くずが絡んでいる。	ボビンケースやかまの糸くずを取り除く。	38~39
	糸が劣化している。 (絹糸や綿糸は劣化しやすい)	新しい糸 (スパン糸) に取り替える。	_
	針の取り付けかたが間違っている。	正しく針を取り付ける。	37
	針が曲がっている。針先が欠けている。	新しい針に交換する。	37
縫い日かとふ	針や糸が生地に合っていない。	生地に合った針と糸を使用する。	22
	上糸のかけかたが間違っている。	上糸を正しくかけ直す。	15~16
	上糸の調子が強過ぎる。	上糸調節ダイヤルで糸調子を弱める。	23
生地がシワになる	上糸、下糸のかけかたが間違っている。	上糸、下糸を正しくかけ直す。	14~16
	針や糸が生地に合っていない。	生地に合った針と糸を使用する。	22
	送り歯にホコリが溜まっている。	送り歯のホコリを取り除く。	38
ケ地が送たたい	送り歯が下がっている。	送り歯を上げる(ドロップフィード)	6
王地が送りない	下糸巻き軸が右の位置にある。	下糸巻き軸が左の位置にする。	20
	ボタンホールレバーを下がっている。	ボタンホールレバーを上げる。	35
ボタンホールが	ボタンホールレバーを下げていない。	ボタンホールレバーを下げる。	32
できない	ボタンホールがくずれる。	電源を入れ直します。	11 • 31

不具合	原因	処理	参照ページ
	上糸の調子が弱過ぎる。	上糸調節ダイヤルで糸調子を強める。	23
生地裏の糸が タオル状になる	上糸のかけかたが間違っている。 または外れている。	上糸を正しくかけ直す。	15~16
	押えが上がっている。	押えを下げて縫う。	20
回転が重い	送り歯にホコリが溜まっている。	送り歯のホコリを取り除く。	38
こことが動いたい	電源コードプラグの差し込みが不十分。	電源コードプラグをしっかり奥まで差す。	11
ミンンが動がない	電源スイッチが OFF になっている。	電源スイッチを ON にする。	11

* これらの現象、原因以外の不具合はミシン内部の調整や部品の磨耗による交換または電気系統の故障が原因と なっている可能性があります。ご購入店またはお客様相談係(P43 参照)にご相談ください。

仕様

型式:MM-30	サイズ:W41.1 × H30.7 × D17.8cm	重量:5.4kg	使用針:家庭用ミシン針(HA×1)	
最大振り幅:7mm	最大送り量:4.5mm	返し縫い送り量:3.5mm	ボタンホール:ワンステップ	
定格電圧:交流 100V	定格周波数:50/60Hz	定格消費電力:31W	回転速度:150 ~ 700rpm	
かまタイプ:水平全回転がま		ボビン:家庭用プラスチックボビン(高さ 11.5mm×直径 20.5mm)		

修理サービス要領

●修理サービスのご相談

- 【1】 このミシンのご購入者には、ご購入店から1年間の「無料修理保証書」が発行されます。 内容をお確かめの上、大切に保存してください。
- 【2】 修理サービスは無料保証期間内および期間経過後も原則としてご購入店が承りますので、ご相談ください。
- 【3】 修理サービスについてお問い合わせやご不審のある場合は、ご購入店または、お客様相談係にお申し付けください。

●修理用部品の保存と供給

動力伝達機能部品および縫製機能部品のうち、交換修理に必要な部品は、ご購入の日から通常8年間は必要に応じて 当社よりご購入店に供給できる体制を整えております。

● 無料修理保証期間後の修理サービス

- 【1】 取扱説明書に基づいて、正しい使用とお手入れがされていれば、無料修理保証期間を経過しても修理用部品の 供給可能期間中は、ご購入店を通じて有料で修理サービスを致します。ただし、次に該当する場合は、 有料でも修理できない場合がありますので、ご購入店にご相談ください。
 - イ.保存上の不備または、誤使用により不調、故障または損傷したとき。
 - ロ.浸水、冠水、火災、天災地変により不調、故障または損傷したとき。
 - ハ.ご購入後の移動または輸送によって不調、故障または損傷したとき。
 - 二.ご購入店または当社の指定する販売店あるいはサービス店以外で修理、分解、 または改造したために不調、故障または損傷したとき。
- 【2】 長期間にわたってご使用されたミシンの精度の劣化は修理によって元どおりに修復できないことがあります。
- 【3】 有料修理サービスの場合の費用は、別に定める必要部品代金、交通費および技術料金の合計額となります。

お問い合わせまたはご相談先

ミシンについてのお問い合わせ、ご相談はご購入店のほか、下記の弊社「お客様相談係」でも承っておりますので ご遠慮なくお申し付けください。



* 住所および電話番号は都合により変更することがありますのでご了承ください。 * 純正部品の購入についてのお問い合わせは、ご購入店のほか、上記の弊社「お客様相談係」におたずねください。

サービス工場のご案内

純正部品のご購入は、購入店または下記のサービス工場にお申し込みください。 ご購入頂きましたミシンは、下記の専門工場で点検修理等のサービスを致します。 なお、サービスには有償修理点検と無償修理点検があります。サービス工場にお問合せください。

※ ミシンを工場へ送付されるときは、このミシンの箱と緩衝材(クッション)をご利用ください。

〒 544-0022 大阪府大阪市生野区舎利寺 3-12-5 TEL:06-6717-5851 FAX:06-6741-7875 A※E YAMAZAKI 株式会社 アックス ヤマザキ ミシンサービス係 行き

> 月~金曜日 午前9:00~12:00 午後1:00~5:00 (土曜/日曜/祝祭日休み)

MEMO

		ミシ	ン 係	、証:		
푴	╝ 式	MM-30 シリーズ 機	械 番 号			ご購入後には
※お	買い上げ日	年月日保	証期間	お買い上げ日。	より本体 1 年	※印欄への記入の 有無をご確認下さい。
※ お	ご住所	TEL			様方	記入がない時は ご購入日、または お届け日が証明できる
客様	^{フリガナ} ご芳名				様	伝票などを添付して ください。 本書は再発行
※ 販	住 所	Ŧ				致しません。 紛失しないように 大切に保管して下さい。
売 店	店名		т	EL		
 無料修理保証に付いて 無料修理保証規関(ご購入の日から1ヵ年間)内に故障が発生した場合は、無料で故障箇所の修理調整、または故障部品の交換を致します。 無料修理保証をお受けいただくときは、この保証書を提示してください。 保証機種がコンパクトミシン本体のみとし、ケース、針及び電球などの消耗部品を除きます。 無料修理保証をお受けいただくときは、この保証書を提示してください。 保証機種がコンパクトミシンまたは、軽量可搬のボータブルミシンなどであるときは、そのミシンを購入店へご持参、またはご相談ください。 無料修理保証が受けられない場合 次のような場合には、保証期間内でも保証の対象とはなりません。 「取扱説明書」に記載してある使用方法または、保存方法と異なる方法によったため不調、故障または 損傷したとき。 浸水、冠水、火災、天災地変により不調、故障または損傷したとき。 ご購入店または当社で指定した販売店、サービス店以外で修理分解または改造したために不調、故障 または損傷したとき。 (職業用など過度なご使用により不調、故障または損傷したとき。 (時別なご依頼により点検、精密検査または分解及び掃除などをしたとき。 この保証書に購入年月日、ご購入店名の記載または捺印がなかったとき。 この保証書に購入年月日、ご購入店名の記載または捺印がなかったとき。 この保証書に購入年月日、ご購入店名の記載または捺印がなかったとき。 この保証書に購入年月日、ご購入店名の記載または捺印がなかったとき。 お問い合わせまたはご相談先 この保証書に記載してありますご購入店または、取扱説明書の「サービス工場のご案内」に記載された「お客様相談係」にお申し付けください。 						
2. 3.	従ってこの保 ついて、ご不 「 取扱説明書 この保証書は	書によってお客様の権利を制 同の場合はご購入店または、 の「修理サービス要領」を み失されても再発行いたしませ	限するもの ⁻ 当社の「お よくお読みく / んので、大	ではありません 客様相談係」な ごさい。 切に保管してく	ので、保証期 などにお問い合 ださい。	間経過後の修理に わせください。
1						

A※E YAMAZAK 【 保 証 責 任 者 】 株式会社 アックス ヤマザキ

〒 544-0022 大阪府大阪市生野区舎利寺 3-12-5 TEL:06-6717-5851